

安全データシート

改訂日: 2021年7月8日

1. 製品及び会社情報	
製品名	クレゾールレッド溶液 (pH用)
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555 (大阪・本社) (03)3246-2311 (東京) (0268)22-5910 (上田) (052)504-2221 (名古屋) (082)537-0290 (広島)
整理番号	CB5082
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	該当情報なし。
物理化学的危険性	火気に対する引火性はない。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	混合物
化学名	クレゾールレッド溶液
成分及び含有量①	クレゾールレッド 0.04%
化学式又は構造式	C ₂₁ H ₁₈ O ₅ S
官報公示整理番号 (化審法, 安衛法)	該当情報なし。
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 1733-12-6
成分及び含有量②	水酸化ナトリウム 0.01%以下
化学式又は構造式	NaOH
官報公示整理番号	(1)-410
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 1310-73-2
成分及び含有量③	水 残り
化学式又は構造式	H ₂ O
官報公示整理番号	対象外
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 7732-18-5
危険有害成分	水酸化ナトリウム
4. 応急措置	
吸入した場合	直ちに新鮮な空気の所に移し、体を保温し医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。
眼に入った場合	速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水で口中を洗い、多量の水を飲ませる。意識のない場合は水等を与えてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末消火剤、泡末消火剤、炭酸ガス、水
消火方法	燃焼性はない。できれば容器を安全な場所に移動する。不可能な場合は周辺に水をかけ冷却する。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
保護具及び緊急時措置	適切な保護具を着用して作業する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和	少量の場合には、おがくず・ウエス・砂などで吸収させて空容器に回収する。大量の場合には、土嚢などで流出を防止し、空容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	適切な保護具を着用する。
局所排気・全体換気	局所排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	
接触回避	目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。
保管	
技術的対策	容器を密閉して保管する。
適切な保管条件	換気のよい冷所に、直射日光を避けて保管する。
混触危険物質	該当情報なし。
容器包装材料	ガラス
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	

管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取り扱い出来るだけ密閉化する、局所排気装置を使用する。
保護具	該当情報なし。
呼吸器の保護具	該当情報なし。
手の保護具	保護手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業衣を着用する。
衛生対策	取扱後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	橙色
臭い	無臭
融点/凝固点	該当情報なし。
沸点又は初留点及び沸騰範囲	約100℃
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	約1.0
自然発火点	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	(黄 pH 7.2-pH 8.8 赤)
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	該当情報なし。
n-オクタノール / 水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	約1.0
相対ガス密度	該当情報なし。
粒子特性	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
安定性	通常の取り扱いに於て安定。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	日光, 熱
混触危険物質	該当情報なし。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素, 二酸化炭素, 硫黄酸化物
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: マウス LD ₅₀ 40mg/Kg (水酸化ナトリウム)
皮膚腐食性・刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: 該当情報なし。 (急性)
	長期: 該当情報なし。 (慢性)
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層に対する有害性	該当情報なし。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	—

品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
16. その他の情報	
引用文献	Merck Index 14th 16615の化学商品 化学工業日報社 The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II 記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。